

M e d i - I n f o

医療連携案内

No.1/2002.6

先生の患者さんに
当院の機能、
すべてをお役立てください。



医療法人 橘会

東住吉森本病院

Higashi Sumiyoshi Morimoto Hospital

地域医療をともに支える一員として、 当院の機能をご理解ください。

地域完結型の医療が進むなか、病診連携の重要性が大きく叫ばれています。その「連携」において、当院は、診療所の先生、そして先生の患者さんから、本当に信頼される病院であることが何より重要と考え、医療の質の向上、サービス体制の充実などに努めてきました。平成14年5月スタートの「日帰り手術センター」、6月スタートの「消化器病センター」は、そのひとつであり、地域において当院の機能をさらに有効活用するための試みと考えています。こうした私たちの新しい動きを含め、当院について、先生により深くご理解いただくことを願い、当院がご提供できる医療サービスをまとめた「医療連携案内」をお届けいたします。ぜひとも本案内をご高覧いただき、先生の患者さんに、当院をご紹介くださる際の参考としてご利用いただければ幸いに存じます。なお当院は開放型病院の承認を受け、診療所の先生と共同で診察する体制も整えています。そうした機会を通し、医療システム上の連携だけに留まらず、診療所の先生と、当院の医師が率直に意見交換できる関係を築き上げたいと考えています。地域医療をともに支える一員として、東住吉森本病院へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東住吉森本病院 院長

宮城 邦栄

ミヤギ くにひで



DOCTOR'S PROFILE

出身大学
大阪市立大学
専門分野・得意疾患
内科一般
消化器

所属学会
日本内科学会
専門医・認定医
日本内科学会認定医

診療

消化器病センター	5
一般診療科	
外科.....	6
内科.....	7
脳神経外科.....	9
整形外科.....	10
眼科.....	11
形成外科.....	12
放射線科.....	13
ICU	14
手術実績	15
救急機能	17
救急搬送実績	17

検査

画像診断	
CT	19
MRI	20
内視鏡検査	
胃内視鏡	21
大腸内視鏡	22
生理機能検査	
エコー	23
検査実績	24

施術

日帰り手術センター	29
痔核手術.....	29
ソケイヘルニア手術	29
腹腔鏡下胆嚢摘出手術	30
下肢静脈瘤手術	30
白内障手術.....	30
日帰り手術対応疾患	31

入院

一般病棟	33
ICU	34
開放型病床	34

ご利用にあたって

地域医療連絡室	37
外来診療・検査・手術・入院等のご利用の手引き	38
情報提供のお願い	40



診療

INDEX

消化器病センター	5
一般診療科	6
外科	6
内科	7
脳神経外科	9
整形外科	10
眼科	11
形成外科	12
放射線科	13
ICU	14
手術実績	15
救急機能	17
救急搬送実績	17

消化器病センター

食道から直腸まで消化器官に関わるあらゆる疾患を
診断・治療します。

消化器病センターは日本消化器病学会の認定を受け、食道・胃・十二指腸・小腸・大腸、さらに消化管と細い管で連なっている肝臓・胆嚢・膵臓にいたる、すべての消化器系疾患の診断・治療を行います。消化器病の原因には、さまざまな理由があり、単純に特定できないことのほうが多いといえます。当センターでは正確な検査に基

づき原因を特定し、その疾患に対して最適の治療を行います。そのため内科・外科の専門医が協力して一人の患者さんを診る体制を整えています。これにより各医師の専門領域から、よりの確な診断と治療が可能となります。診療所の先生の患者さんのなかで消化器病でお困りの方がいましたら、当センターをお役立てください。

DOCTOR'S PROFILE



消化器病センター センター長
北野 厚生
キタノ アツオ

出身大学

大阪市立大学

専門・得意疾患

炎症性腸疾患の病態と治療に関する研究
実験的大腸炎の研究

所属学会

日本消化器病学会（財団評議員）

日本消化器内視鏡学会（評議員）

日本大腸肛門病学会（評議員）

日本内科学会

専門医・認定医 / 日本消化器病学会認

定医・専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会認定医・指導医

日本大腸肛門病学会指導医・専門認定医

消化器病センター・センター長より

当院は日本消化器病学会の認定を受けており、内科医・外科医のチームで、患者さん一人ひとりに適した治療にあたる体制を整えています。今後も地域の診療所の先生方のご協力をいただき、より質の高い診断と治療を目指し努力してまいります。

S T A F F

詳しいプロフィールは外科・内科のページをご覧ください。

内科

金 鎬俊

高島 隆

藪嶋 恒夫

末包 剛久

渡辺 芳久

勝部 智也

仲川 浩一郎

亀田 夏彦

森本 英樹

越智 正博

横川 正

林 健博

森川 浩安

永見 康明

梅田 修吾

外科

大森 国雄

村瀬 順哉

船井 隆伸

岩田 隆

葛城 邦浩

外科

悪性疾患を専門医が検査、手術。
それが急性期病院の役割。

外科では、頭頸部、胸部、腹部、および末梢血管における外科的急性疾患全般にわたる治療体制を整えています。主に食道から直腸に至る消化器系の悪性疾患、とくに肝臓、胆嚢、膵臓の癌は専門医による手術症例を重ねた専門分野であり、放射線科などとも連携して検査、手術をすすめています。また、呼吸器の専門医も配置し、

肺癌などへの対応も可能です。現在、気胸、胆石、虫垂炎、卵巣嚢腫などには、患者さんの負担の少ない鏡視下手術を取り入れています。将来的には胃癌、大腸癌などにもその領域を広げていく考えです。診療所の先生と共にそれぞれの役割を果たし、地域の患者さんの医療ニーズに応えてまいりたいと思います。

DOCTOR'S PROFILE



副院長・外科部長
日帰り手術センターセンター長
大森 国雄
オオモリ クニオ

出身大学

大阪市立大学

専門分野・得意疾患

消化器外科

肝・胆・膵疾患

所属学会

日本外科学会

日本消化器外科学会

専門医・認定医

日本外科学会認定医

日本消化器外科学会認定医

副院長より

急性腹症の中で、特に閉塞性黄疸を伴う疾患（急性胆管炎）の緊急処置（PTCDなど）や日帰り手術を行っています。日帰り手術とは手術を受けるその日に来院し、当日（あるいは翌日）に帰宅できる手術です。外科においては胆石症、痔核、ソケイヘルニア、下肢静脈瘤といった疾患が対象となります。

S T A F F

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
医長 村瀬 順哉 ムラセ ジュンヤ 大阪市立大学出身	消化器外科 肝胆膵外科 肝胆膵疾患に対する外科手術 超音波ガイド下ドレナージ術	日本外科学会・日本消化器外科学会 日本臨床外科学会 日本外科系連合外科学会 日本肝胆膵外科学会・日本腹部救急学会 日本消化器病学会・日本肝臓学会 日本胆道学会・日本癌学会	日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医 日本消化器病学会認定医
船井 隆伸 フナイ タカノブ 大阪市立大学出身	消化管	日本外科学会・日本消化器外科学会 日本消化器病学会・日本内視鏡学会 日本胸部外科学会・日本癌治療学会 日本胃癌学会	日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医
岩田 隆 イワタ タカシ 大阪市立大学出身	呼吸器外科 一般消化器外科 肺癌の診断及び治療	日本外科学会・日本臨床外科学会 日本胸部外科学会 日本呼吸器外科学会 日本呼吸器学会・日本気管支学会 日本肺癌学会・日本癌治療学会	日本外科学会認定医 日本胸部外科学会認定医 日本胸部外科学会正会員 日本気管支学会気管支鏡認定医
葛城 邦浩 カツラギ クニヒロ 香川医科大学出身	消化器外科、 特に肝胆膵	日本外科学会・日本消化器外科学会 日本消化器病学会 日本臨床外科学会 日本肝胆膵外科学会・日本移植学会 日本肝臓学会・日本腹部救急学会	日本外科学会認定医

内科

内科全般の急性期対応と、
高度な専門性をもつ消化器内科。

内科では、あらゆる疾患の急性期対応と救急対応を行います。中でもとくに肝臓、胆嚢、膵臓の消化器領域を専門としています。上部消化管については内視鏡検査の設備を充実させ、即日検査が可能となり、また肝臓の検査用の超音波診断装置を更新し、癌の存在診断ができるようになりました。さらに、高齢者向けの大腸内視

鏡検査など短期の検査入院プログラムと、糖尿病患者さんの自己管理の習得を目的とした食事療法・運動方法などの教育と実践を促す生活習慣改善プログラムを実施しています。こういったプログラムを通して、患者さんに情報提供を行い、専門の消化器領域のみならず内科疾患全般の急性期対応の技術向上に努めたいと思います。

DOCTOR'S PROFILE



内科 部長
金 鎬俊
キン コウシュン

出身大学

富山医科薬科大学

専門分野・得意疾患

内科一般とくに肝臓疾患

肝臓を含む慢性肝疾患の診断と治療

所属学会

日本内科学会

日本肝臓学会

日本消化器病学会

日本癌治療学会

専門医・認定医

日本内科学会認定医

日本肝臓学会認定医

内科部長より

個人的にはGeneralistとしての役割を任じているつもりで各種内科疾患への初期対応と院内・院外のエキスパートの各医師への橋わたし機能を果していきたいと考えています。一方、肝臓疾患については院内の肝臓専門医師達の日常診療のサポート、各種とり組のコーディネータの役割を果してまいります。目標は多くの一般疾患なかでも肝を含む消化器疾患については当院にまかせていただければ安心と地域の先生方に思っただけのよう努めてまいります。

S T A F F

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
医長 藪嶋 恒夫 ヤブサコ ツネオ 近畿大学出身	消化器病学 肝臓病学	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本肝臓学会	日本消化器病学会認定医 日本医師会認定産業医 介護支援専門員
医長 渡辺 芳久 ワタナベ ヨシヒサ 富山医科薬科大学出身	消化管疾患一般	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本大腸肛門病学会	日本消化器病学会認定医 日本消化器内視鏡学会認定医 日本産業認定医
医長 仲川 浩一郎 ナカガワ コウイチロウ 大阪市立大学出身	上部消化管 胆道 膵臓 内視鏡	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会	日本内科学会認定医 日本消化器病学会認定医 日本消化器内視鏡学会認定医
医長 森本 英樹 モリモト ヒデキ 大阪市立大学出身	消化器内科 肝炎、肝臓	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本超音波医学会	日本消化器病学会認定医

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
横川 正 ヨコカワ タダシ 大阪市立大学出身	消化器一般、 特に肝臓病 腹部超音波 超音波下処置 (肝生検など)	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会 日本超音波医学会 日本消化器内視鏡学会	日本消化器病学会認定医
森川 浩安 モリカワ ヒロヤス 鹿児島大学出身	消化器内科 肝炎・肝癌治療	日本内科学会 日本消化器病学会 日本肝臓学会	日本消化器病学会認定医
梅田 修吾 ウメダ シュウゴ 高知医科大学出身	上部消化器疾患、 特に内視鏡を 用いた治療	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会	日本消化器病学会認定医 日本消化器内視鏡学会認定医
高島 隆 タカシマ タカシ 川崎医科大学出身	消化器内科 内視鏡	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会	
末包 剛久 スエカネ ツネヒサ 福井医科大学出身	消化器内科 消化器疾患	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会	
勝部 智也 カツベ トモヤ 大阪市立大学出身	消化器疾患	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会 日本大腸肛門病学会	
亀田 夏彦 カメダ ナツヒコ 大阪市立大学出身	消化器疾患	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会	
越智 正博 オチ マサヒロ 大阪市立大学出身	消化器内科	日本内科学会 日本消化器病学会 日本消化器内視鏡学会	
林 健博 ハヤシ タケヒロ 大阪市立大学出身	消化器内科	日本内科学会 日本消化器病学会	
永見 康明 ナガミ ヤスアキ 大阪市立大学出身	消化器内科	日本内科学会 日本消化器病学会	

脳神経外科

より迅速な対応で、
充実した急性期医療をめざします。

当科では、脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷、感染症、顔面痙攣、三叉神経痛、脊髄疾患、脊椎疾患など、さまざまな頭頸部疾患を対象に、年間90～100件の手術を行っています（平成13年度は92件）。近年では、最新鋭のMRIや、血管内手術など、侵襲の少ない検査や手術により、効果的な治療が行えるようになりました。また、超

急性期医療を24時間体制で行うための人材、環境、設備を整え、スピーディーな治療、および、回復期病院への早期転院の実施を心がけています。

地域の診療所の先生方と連携を深めることにより、地域医療を支援する急性期医療の担い手として、一層の充実を図っていきたいと考えています。

DOCTOR'S PROFILE



脳神経外科 部長
陳 鐘伯
チン ショウハク

出身大学

大阪市立大学

専門・得意疾患

脳神経外科一般

脳血管障害

所属学会

日本脳神経外科学会

日本脳神経外科学会近畿地方会（評議委員）

日本脳神経外科学会救急研究会世話人

日本脳神経外科コンgres

専門医・認定医

日本脳神経外科学会専門医

脳神経外科部長より

4名の専門医が、“患者さん中心の医療”をモットーに、患者さんの同意を得た治療を行っています。今後とも、より一層の連携を深めていきますようお願いいたします。

STAFF

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
医長 原 暢孝 ハラ ノブタカ 大阪市立大学出身	脳神経外科一般 脳血管障害 頭部外傷	日本脳神経外科学会 日本脳卒中の外科学会 日本脳神経外科コンgres	日本脳神経外科学会専門医
医長 樹山 三記 キヤマ ミキ 大阪市立大学出身	脳神経外科一般 脳血管障害 脊髄疾患	日本脳神経外科学会	日本脳神経外科学会専門医
伊地知 寿 イジチ ヒサシ 大阪市立大学出身	脳血管障害	日本脳神経外科学会	

整形外科

経験豊かな専門医の施術で
患者さんに楽しい毎日を。

整形外科は、骨や関節、神経など運動器官全領域にわたる疾患の治療を行います。高齢者の骨折、腰痛症、椎管狭窄症、椎間板ヘルニアなどの手術症例が年間800、なかでも人工関節は年間50症例を数えます。当院は、入院および入院待機期間が大変短いことから、多くの患者さんに喜ばれています。また日本整形外科学会から研修

施設の認定も受けています。専門医による手術の後、患者さんのスムーズな社会復帰に向けて、医師、理学療法士、看護師が連携し、患者さんご家族の同意の上で、ゴールを設定しリハビリテーションを行っています。「患者さんがいかに楽しく暮らしていけるか」ということを第一に考えることが、当科の治療方針です。

DOCTOR'S PROFILE



整形外科 部長
淵田 昌克
フチタ マサカツ

出身大学

大阪市立大学

専門分野・得意疾患

関節疾患、外傷外科

所属学会

日本整形外科学会

中部日本整形災害外科学会

日本手の外科学会

日本骨関節感染症学会

専門医・認定医

日本整形外科学会専門医

整形外科部長より

当院では、私が勤務しはじめたころと異なり、この15年間でいわゆる外傷外科より、人工関節、脊椎手術、鏡視下手術の占める割合が、近隣の諸先生方の御助力、御支援と当院の若手医師の研鑽にて増加してきています。人工関節手術は、今年度施設基準を獲得し、本年も5月29日現在で39症例に至っております。ご紹介の程よろしくお願いたします。

S T A F F

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
医長 岸田 宗久 キシダ ムネヒサ 鳥取大学出身	関節鏡 鏡視下手術	日本整形外科学会 日本リハビリテーション医学会 日本最小侵襲整形外科研究会 日本骨関節感染症学会	日本整形外科学会専門医 日本整形外科スポーツ認定医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医
玄 正基 ゲン マサキ 三重大学出身	骨折 外傷一般	日本整形外科学会 日本小児整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会	
鍋田 正晴 ナベタ マサハル 三重大学出身	外傷一般	日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会	
星野 雅俊 ホシノ マサトシ 大阪市立大学出身	外傷一般 脊椎	日本整形外科学会 中部日本整形外科災害外科学会	

眼科

多種多様な医療技術で、
患者さんに適した治療を実施。

当科では、白内障、網膜・硝子体疾患、緑内障の手術治療を中心に、成人のあらゆる眼科疾患に対応しています。なかでも、一番手術件数が多いのは白内障手術で、大半の症例は小切開超音波手術で治療しますが、患者さんの病状に合わせて、嚢外摘出術、緑内障手術との同時手術、硝子体手術との同時手術など、さまざまな方法で手術を

行っています。また、白内障手術における入院期間は、通常、片目で4、5日、両目で約1週間ですが、ご希望により日帰り手術も可能です。医師5名、視能訓練士2名、OMA4名、計11名の充実した人員体制で、診療所のスクリーニングに基づき、より高度な医療の提供をめざしていきたいと考えています。

DOCTOR'S PROFILE



眼科 部長
井上 一紀
イノウエ カズキ

出身大学

大阪市立大学

専門分野・得意疾患

眼科手術とくに網膜硝子体手術、白内障手術、糖尿病網膜症などの眼底疾患、レーザー光凝固手術

所属学会

日本眼科学会
日本眼科手術学会
日本網膜硝子体学会

専門医・認定医

日本眼科学会眼科専門医

眼科部長より

手術に興味をもち眼科を始めて以来、迅速で確実な手術をモットーにしてまいりましたが、今後も成人の眼科手術に重きをおいていくつもりです。紹介いただいた患者さんは手術待ち時間を短く、手術医も熟練医に限定しております。また、術後は、なるべく早期に紹介医に戻ってもらうことを原則にしておりますので、手術症例、検査症例のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

S T A F F

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
医長 楠田 美保子 クスタ ミホコ 大阪市立大学出身	眼底疾患 白内障	日本眼科学会	日本眼科学会専門医
稲垣 直人 イナガキ ナオト 新潟大学出身	眼底疾患 緑内障	日本眼科学会	日本眼科学会専門医
小西 正浩 コニシ マサヒロ 兵庫医科大学出身	眼底疾患 白内障	日本眼科学会	日本眼科学会専門医
玉置 正一 タマオキ ショウイチ 島根医科大学出身	眼表面疾患 緑内障	日本眼科学会	

形成外科

専門医が患者さまとの対話に基づいた治療を行います。

専門医2名が常勤する当科では、熱傷、先天異常、母斑、血管腫、腫瘍をはじめ、形成外科の守備範囲にある、ほとんどすべての疾患に対応しています。なかでも、最も得意とする領域は、顔面骨折の治療です。また当科では、患者さまの精神面でのケアを大切にしています。治療方針として、患者さんと充分話し合い、そのうえでどのよ

うな治療方法が可能か、その際のメリットやリスクはどのようなものか、などをご説明し、患者さんの納得された方法で治療を行うことを徹底しています。今後も、脳神経外科、整形外科、外科など他の診療科と連携し、地域の急性期病院の形成外科として、より質の高い治療の実施に向け取り組んでいきます。

DOCTOR'S PROFILE



形成外科 医長
辻口 幸之助
ツジグチ コウノスケ

出身大学

大阪医科大学

専門分野・得意疾患

形成外科
顔面外傷(顔面軟部組織損傷、顔面骨骨折)

所属学会

日本形成外科学会
日本頭蓋顎顔面外科学会
日本マイクロサージャリー学会
日本熱傷学会

専門医・認定医

日本形成外科学会専門医

形成外科部長より

新鮮熱傷、体表にあらわれる先天異常、ほくろなどの皮膚腫瘍、瘢痕拘縮、難治性潰瘍等身体外表に関係する疾患はほとんど取り扱っています。美容外科を含めどんなことでもお気軽に御相談下さい。

S T A F F

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
<p>田中 聡 タナカ サトシ 大阪医科大学出身</p>	<p>形成外科 顔面外傷 熱傷</p>	<p>日本形成外科学会 日本頭蓋顎顔面外科学会 日本マイクロサージャリー学会 日本熱傷学会 日本救急医学会</p>	<p>日本形成外科学会専門医</p>

放射線科

専門医による迅速な対応など、
“サービス科”としての充実を目指します。

放射線科では、一般撮影、CT、MRI、血管撮影、透視検査による画像診断と、IVR（インターベンショナル・ラジオロジー）による主に肝腫瘍、消化管出血の治療を行っています。

今年から人員も増え、地域の診療所の先生からご紹介いただいた患者さんの検査対応や所見の返却を迅速に行え

る体制となりました。今後は、さらに画像診断のご相談をお受けするなどのサービス面を強化していきたい考えです。放射線科の専門医師としての役割を再認識し、力を尽くしてまいりたいと思います。

くわしくは別途『放射線マニュアル』をご参考ください。



放射線科 部長
波多 信
ハタ マコト

DOCTOR'S PROFILE

出身大学
大阪医科大学

専門分野・得意疾患
画像診断学一般
胸部画像診断

所属学会
日本医学放射線学会

専門医・認定医
日本医学放射線学会専門医
放射線科部長より

画像診断と言えばCT/MR等断面図主流の時代です。さて断面（クロスセクション）

という言葉・概念はいつ頃出てきたのでしょうか？18世紀に始めて出版された百科事典 - 帆船の矢状断 - からだそうです。“見えないものは理解出来ない”から“断面にして見たら理解出来る。”という、ビジュアル科学への出発点、その延長が現在の画像診断なのでしょう。“I see that”が“わかった”という意味をもつのもこれ以降の時代です。“わかる”と“見てわかった気がする”という、その差を縮めることが、私どもに必要なことなのでしょう。今後とも宜しくお願いします。

S T A F F

	専門分野・得意疾患	所属学会	専門医・認定医
医長 藤本 圭志 フジモト ケイジ 大阪市立大学出身	IVR 診断学一般 肝胆膵及び 消化管疾患	日本医学放射線学会 日本IVR学会（前評議員）	日本医学放射線学会専門医

ICU(特定集中治療室)

幅広い診療科の知識と経験を生かした「危機管理」体制。

ICU（特定集中治療室）では、数多くの診療科を経験した医師が専任で常時勤務する体制がスタートしました。内容としては、一般腹部外科、胸部外科、さらに整形外科、脳外科の術後の集中治療をチーム医療体制で順調に行っています。また、集中治療室自体の整備にも力を入れ、最先端の装置や器具を配備したバイオクリーンルー

ムとなっています。

今後は、地域の急性期病院における、術後の救急患者管理のためのICUとして、より「危機管理」の意識を強め、奥深く幅広い充実した集中治療を実現し、患者さんのニーズにお応えしていきたいと考えます。

DOCTOR'S PROFILE



ICU(特定集中治療室)

近藤 樹俊

コンドウ ミキトシ

出身大学

杏林大学

専門・得意疾患

全外科系麻酔および術後集中治療

消化器系疾患

所属学会

日本外科学会

日本麻酔科学会

日本病理学会

専門医・認定医

麻酔科標榜医

介護支援専門員

ICUより

ICU立ち上げのため平成14年4月に着任しました。特定集中治療室（ICU）として専門特化を図り、消化器病センター及び、日帰り手術センターなどと共に、地域に質の高い医療を提供いたします。

手術実績

2002年度手術症例件数

外科

手術名	件数
胆道疾患・ラパコレ	97
腸疾患（大腸・小腸）	93
虫垂切除	79
胃疾患（悪性・良性）	42
ヘルニア	64

2002年度手術症例件数

整形外科

手術名	件数
人工骨頭（股・肩）	53
人工関節（股・膝）	34
関節鏡下手術	33
手の外科手術	157
外傷	178

2002年度手術症例件数

脳神経外科

手術名	件数
慢性硬膜下血腫穿頭術	31
脳動脈瘤クリッピング術	18
脳内血腫除去術（小脳出血含む）	13
硬膜下血腫除去術	4
V-Pシャント術	6

手術症例件数

対象期間：2001年7月から

形成外科

手術名	件数
皮膚良性腫瘍	15
顔面骨骨折	8
褥瘡	8
難治性潰瘍	8
新鮮熱傷	5

手術症例件数

対象期間：2001年7月から

眼科

手術名	件数
白内障手術（緑内障や硝子体手術との同時手術含む）	547
緑内障手術	12
網膜剥離・硝子体手術	12
翼状片手術	8
レーザー手術	946

手術症例件数

対象期間：2001年1月1日～2001年12月31日

内視鏡手術

手術名	件数
胃ポリペクトミー	6
大腸ポリペクトミー	113

救急機能

24時間体制で、迅速に
可能な限りの救命救急医療を行います。

いかなるときも、この地域の生命を守ります。

当院は第二次救急指定の医療機関として、24時間、何時いかなる時も急患を受け入れられる体制づくりに努めています。各診療科、看護部、検査科・放射線科に当直制をひき、それらすべての連携のもと、すぐさま集中治療、さらには緊急手術にも対応し、救命救急医療に全力を注いでいます。

救急外来の看護師が、救急隊からの連絡をお受けします。患者さんの状況など情報収集を行い、受入準備を整えます。最近では、診療所の先生が患者さんに付き添って救急車で来院されるケースも増え、その際は当

院の医師が、先生から直接お話を伺いし、しっかり確実に先生の患者さんをお預かりいたします。

「患者さん中心の医療」を貫徹

救命救急という緊迫した状況下でも、私たちは患者さんやご家族への接遇に力を注いでいます。少しでも不安を和らげられるよう、言葉がけひとつにも、心を配っています。また、カルテ開示のご要望にお応えするために、緊急時も記録を残すよう教育にも力を入れています。今後さらに救命救急機能に専門特化した救急部の確立に向けて、努力いたします。



2次救急患者受入実績

平成13年 2次救急患者受入実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
受入数	316	272	335	319	335	307	375	337	329	347	387	374	4033
一日平均台数	10.2	8.8	10.8	10.3	10.8	9.9	12.1	10.9	10.6	11.2	12.5	12.1	

平成14年 2次救急患者受入実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
受入数	377	318	395										1090
一日平均台数	12.2	10.3	12.7										



検査

INDEX

画像診断	
CT.....	19
MRI	20
内視鏡検査	
胃内視鏡	21
大腸内視鏡	22
生体機能検査	
エコー	23
検査実績	24

CT

脳出血などの急性期疾患を速やかに検査・診断。

通常の検査から救命救急時まで幅広い分野で使用されています。

現在、X線CTによる画像診断は、ほとんどの臓器のスクリーニング検査として不可欠な検査法となっています。各臓器の腫瘍性疾患や炎症性疾患の診断や経過観察の手段としてはもちろんのこと、脳血管障害や外傷、急性腹症など、急性疾患の診断にも大

きな位置を占めています。当科では、先生方が疑われたこれらの急性期疾患に対して、随時CT検査を施工できる体制をとっています。当院CT検査総数の約3割が、受診された当日の検査数であることからも理解していただけたと思われま

す。また急性疾患だけでなく、先生方もよくご存じのように、頭部や肝臓など腹部病変の

CTの有用性は言うに及ばず、最近では胸部単純写真ではわからないとされる、早期肺癌検診にCT検査を用いる各施設の報告もみられます。

他のx線検査同様、被爆という問題はありませんが、妊娠の可能性がある場合尚若干の制限を除けば、risk-benefitを考慮した上でよい検査法です。

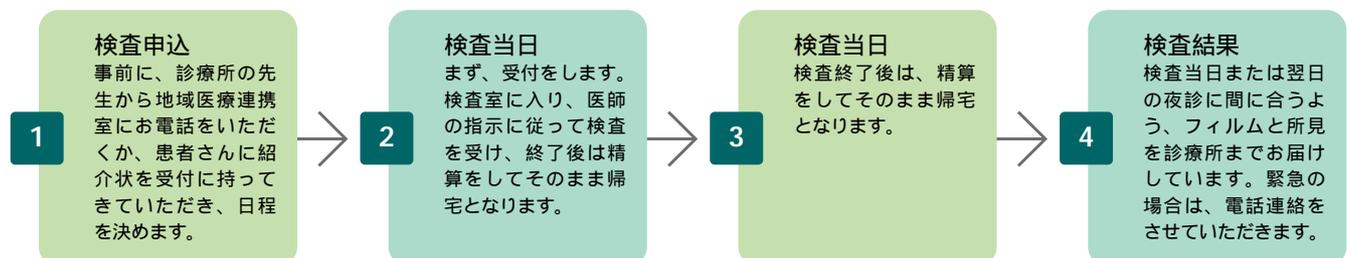


日立 W 2000

検査要項

使用機種・機器	検査実施日時	所要時間	検査部署	依頼方法	報告
日立 W 2000	月～土	約10分	2F CT室	事前に地域医療連絡室に電話予約、または紹介状持参。	検査当日または翌日にフィルムと所見を診療所にお届けします。

検査の流れ



MRI

頭部、脊髄、関節疾患の診断のみならず……。

最新型の検査装置導入により、種々に対応。

X線CT検査では弱点とされる小脳、脊髄、関節疾患などのMRI画像診断の重要性は先生方もご承知の通りで、当院の以前のMRI検査もよくご利用していただきました。しかし最近導入したMRI検査の可能

性はそれだけのものではありません。たとえば胆道疾患や膵臓疾患の診断に不可欠な胆道や膵管の情報が非侵襲的に得られます。また大動脈から末梢の動脈の描出をも可能で、大動脈瘤やASO等の診断にも有用です。CT検査やUS検査と併用することで肝臓や膵臓などの腫瘍性疾患の

質的診断も正確になる可能性が高くなります。

X線CTとは違い被爆の問題はありませんが、心臓のペースメーカーなど磁性体装着者など若干の制限がありますので、疑問があれば、相談ください。

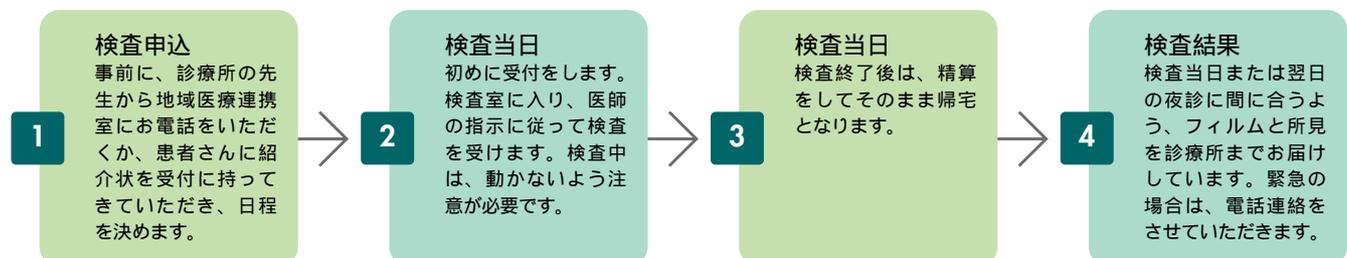


シーメンス MAGNETOM Symphony1.5T

検査要項

使用機種・機器	検査実施日時	所要時間	検査部署	依頼方法	報告
シーメンス MAGNETOM Symphony1.5T	月～土	約30分	2F MRI室	事前に地域医療連絡室に電話予約、または紹介状持参。	検査当日または翌日にフィルムと所見を診療所にお届けします。

検査の流れ



胃内視鏡

胃癌など、上部消化管の悪性疾患を早期発見。

小さな病変を診断、止血処置や生検も同時に行います。

胃内視鏡検査は、主に食道、胃、十二指腸を観察し、逆流性食道炎、食道潰瘍、食道癌、胃炎、胃潰瘍、胃癌、十二指腸潰瘍などの疾患を発見することができます。胃の検査にはもう一つ、バリウムなどの胃透視の

検査があり、胃全体の情報が得られるという長所があります。それに対して内視鏡検査の優れている点として、色調の変化が観察でき、小さな病変まで診断できること、同時に生検ができること、被爆しないことが挙げられます。当院では検査だけでなく、ERCP、胆管結石除去、胃瘻の

造設、胃潰瘍の出血に対する止血処置、消化管狭窄に対するステント留置などにも内視鏡的治療を行っています。胃内視鏡検査は、一般的に受診者の苦痛が大きいと言われております。当院では医療用麻薬使用下で検査を行い、受診者の苦痛を少しでも和らげるような方法をとっています。

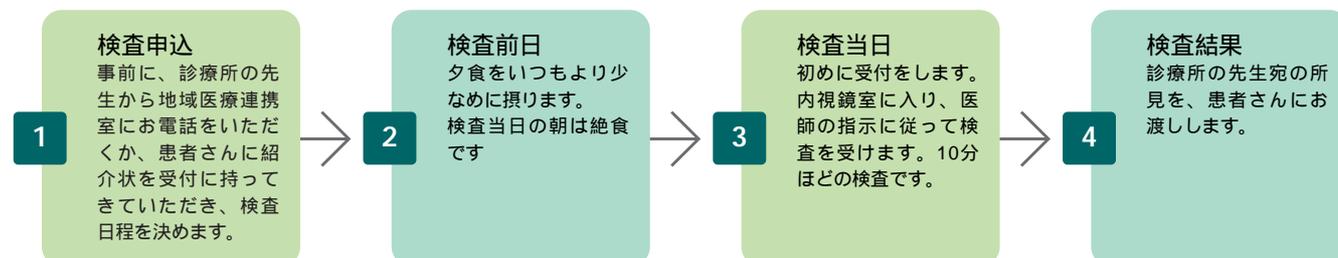


オリンパス社製内視鏡

検査要項

使用機種・機器	検査実施日時	担当医	所要時間	検査部署	依頼方法	報告
オリンパス社製内視鏡	通常検査 月～土 9:00～12:00 処置を伴う検査 木 14:00～17:00	月・火・金・土 仲川 水・木 梅田	5分～10分	2F 内視鏡室	事前に地域医療連絡室に電話予約、または紹介状持参。	即日患者さんに所見手渡し。異常のあった際は電話連絡。

検査の流れ



大腸内視鏡

腸疾患を正しく診断。内視鏡下での治療も可能。

内視鏡認定医の熟達した検査技術で患者さんの負担を軽減。

炎症性腸疾患はもとより腫瘍性病変も正確かつ迅速に診断、ポリペクミーやEMR(粘膜切除術)にて治療します。大腸内視鏡検査は、直腸、結腸、盲腸、回腸末端部を観察し、癌やポリープ、炎症の有無などを調

べることができます。当院では、最新型のオリンパス社製Q240シリーズを導入しており、以前にもまして、より迅速かつ正確に大腸腫瘍性病変を診断し、治療することが可能となりました。また、この検査は下剤による前処置が必要で、高齢の方には準備が複雑で困難な場合がありま

す。そのような場合は、御連絡頂ければ検査入院(前日入院)も可能です。そして、この検査は多少の苦痛を伴うことがあり、当院では本検査に熟達した内視鏡認定医が携わり、鎮静・鎮痛剤の使用により、患者さん負担の軽減に努めています。



オリンパス社製内視鏡(Q240シリーズ)



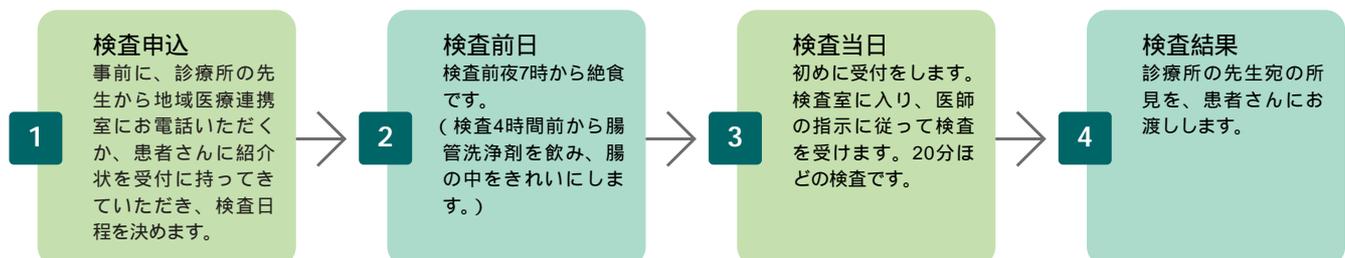
X線室モニター

検査要項

使用機種・機器	検査実施日時	担当医	所要時間	検査部署	依頼方法	報告
オリンパス社製内視鏡(Q240シリーズ)	火 13:30~ 金 10:00~ 土 13:30~	火 北野、中村、渡辺 金 北野、渡辺 土 中村、渡辺	10分~20分	2F内視鏡室	事前に地域医療連絡室に電話予約、または紹介状持参。	即日患者さんに所見手渡し。

ポリープ切除などの処置は火曜・土曜のみ実施しております。

検査の流れ



エコー

最新の検査機器により癌や重大疾患を早期発見。

小さな癌の発見や、生活習慣病の予防に役立ちます。

エコー検査は、X線や血液検査では発見が難しい、10mm前後からの腫瘍および癌の存在診断ができます。また異常があってもほとんど自覚症状の出ないような肝臓、胆嚢、膵臓、腎臓、乳腺、甲状腺、膀胱、子宮、

卵巣、前立腺などの臓器を、動きを含めて観察できます。主な疾患として、肝臓癌、肝硬変、脂肪肝、胆石、子宮筋腫、卵巣腫瘍などの発見に非常に有用です。当院では最新の検査機器を導入し、今では頸動脈エコーによる動脈硬化の診断から、脳卒中、心筋梗塞の早期発見や生活習慣病の

予防に役立てています。エコーは、受診者の負担が少ない短時間の検査ですが、医師または検査技師に高い技術力が要求されます。現在の検査件数は月間350件程ですが、今後ご紹介いただく患者さんも正確かつ迅速に検査できるよう日々努力を続けてまいりたいと思います。



フィリップス SONOS 5500 (心エコー)

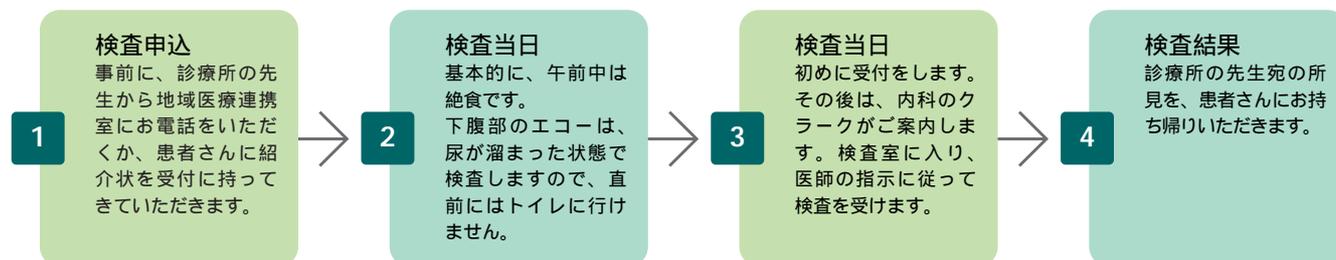


GEメディカルシステム LOGIQ 700 (腹部エコー)

検査要項

使用機種・機器	検査実施日時	所要時間	検査部署	依頼方法	報告
フィリップス SONOS 5500	腹部エコー 月～土 / 午前	10～15分	2F 超音波検査室	事前に地域医療連絡室に 電話予約、または紹介状 持参。	即日患者さんに所見手渡 し。異常のあった際は電 話連絡。
GE メディカルシステム LOGIQ 700 アロカ / SSD 2000	心エコー 月・木・土 午後				

検査の流れ



検査実績

CT

平成13年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
頭部CT	456	482	516	516	469	484	520	414	453	490	553	513	5888
体部CT	286	295	312	312	332	374	346	342	308	359	306	353	3933
四肢CT	9	12	2	3	4	5	0	4	6	5	6	5	61
合計	751	789	860	831	805	863	866	760	767	854	865	871	9882

平成14年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
頭部CT	493	390	499	461									1843
体部CT	334	319	340	289									1282
四肢CT	7	4	11	2									24
合計	834	713	850	752									3149

MRI

平成13年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
頭部MRI	81	78	85	81	91	89	92	85	75	11	4	143	915
体部MRI	39	46	50	41	45	48	54	52	57	6	1	77	516
四肢MRI	12	13	11	7	9	17	9	10	9	0	1	15	113
合計	132	137	146	129	145	154	155	147	141	17	6	235	1544

平成14年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
頭部MRI	153	121	149	151									574
体部MRI	55	70	95	92									312
四肢MRI	14	10	14	10									48
合計	222	201	258	253									934

検査実績

胃内視鏡

平成13年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
胃内視鏡	190	190	213	174	190	190	158	179	160	213	207	190	2254
食道内視鏡	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	1	6	11
胃内視鏡(消化管止血術)	8	7	2	12	4	6	6	5	5	9	9	12	85
食道静脈瘤結紮術(EVL)	0	0	0	0	0	2	2	6	3	3	3	2	21
胃内視鏡(ポリペク・EMR)(早期悪性腫瘍)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
胃内視鏡(ポリペク・EMR)	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	5
食道静脈瘤硬化療法(EISL)	7	6	1	2	1	0	0	6	6	11	3	3	48
合計	206	203	216	189	196	198	168	198	177	237	224	213	2425

平成14年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
胃内視鏡	203	195	211	231									840
食道内視鏡	1	0	0	1									2
胃内視鏡(消化管止血術)	11	19	5	7									42
食道静脈瘤結紮術(EVL)	3	0	0	4									7
胃内視鏡(ポリペク・EMR)(早期悪性腫瘍)	0	0	1	0									1
胃内視鏡(ポリペク・EMR)	1	1	2	3									7
食道静脈瘤硬化療法(EISL)	4	7	4	3									18
合計	223	222	223	249									917

大腸内視鏡

平成13年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
大腸内視鏡(小腸)	0	0	0	3	0	1	5	0	2	3	0	0	14
大腸内視鏡(直腸)	0	1	0	1	1	4	2	3	1	1	0	1	15
大腸内視鏡(上行結腸)	25	34	33	34	37	47	48	45	45	44	35	58	485
大腸内視鏡(下行結腸)	6	2	5	5	5	3	3	3	6	2	3	2	45
大腸内視鏡(横行結腸)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
大腸内視鏡(S状結腸)	2	4	1	2	2	5	6	4	2	2	5	1	36
大腸内視鏡(ポリペク・EMR)	10	7	2	7	5	15	6	8	12	14	10	7	103
大腸内視鏡(ポリペク・EMR)(早期悪性腫瘍)	1	0	2	0	1	1	0	2	2	1	0	0	10
合計	44	48	43	52	51	76	70	66	70	67	53	69	709

平成14年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
大腸内視鏡(小腸)	0	0	2	3									5
大腸内視鏡(直腸)	2	0	2	2									6
大腸内視鏡(上行結腸)	58	53	71	60									242
大腸内視鏡(下行結腸)	0	1	3	4									8
大腸内視鏡(横行結腸)	0	0	2	0									2
大腸内視鏡(S状結腸)	0	4	0	4									8
大腸内視鏡(ポリペク・EMR)	12	9	10	13									44
大腸内視鏡(ポリペク・EMR)(早期悪性腫瘍)	1	1	0	1									3
合計	73	68	90	87									318

エコー

平成13年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
超音波検査 (心エコー)	91	95	107	85	94	104	79	82	94	93	107	86	1117
超音波検査 (腹部エコー)	224	305	305	266	270	306	269	287	251	93	300	269	3080
合計	315	412	412	351	364	410	348	369	345	186	407	355	4197

平成14年 検査実績

項目名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
超音波検査 (心エコー)	92	87	92	80									351
超音波検査 (腹部エコー)	266	289	292	242									1119
合計	358	376	384	352									1470



施術

INDEX

日帰り手術センター	29
痔核手術	29
ソケイヘルニア手術	29
腹腔鏡下胆嚢摘出手術	30
下肢静脈瘤手術	30
白内障手術	30
日帰り対応疾患	31

日帰り手術センター

入院のわずらわしさがなく、費用も安く、何よりも日常生活の延長で手術が受けられるのが魅力です。

ヘルシーペイシエントを対象に

「日帰り手術」とは、手術を受けるその日に来院し、当日（あるいは翌日）に帰宅できる手術をいいます。技術や手術機器の進歩により、これまで数日から10日ほどの入院が必要であった疾患にまで対応できるようになりました。アメリカでは手術の約8割が日帰り手術で行われていま

す。ご利用していただけるのは、その部位さえ手術してしまえば、日常生活に大きな支障のないヘルシーペイシエント（健康な患者）です。仕事で長く休めないサラリーマンや家事に忙しい主婦などのなかに潜在的ニーズが高いと思われます。先生が診ておられる患者さんのなかで日帰り手術をご希望の方がございましたら、当センターをご紹介ください。



また症例や適応などについてのご質問がありましたら、なんなりとご相談ください。

痔核手術

施術概要

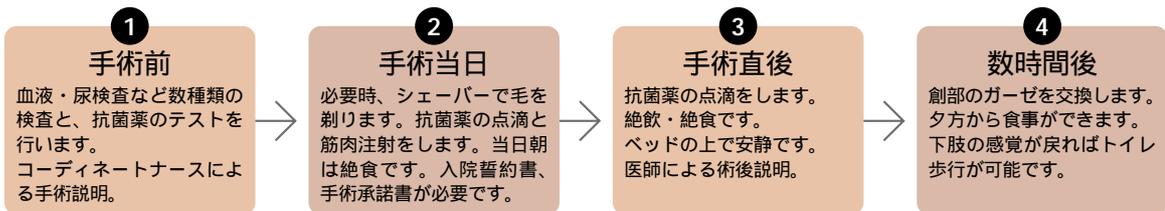
痔核手術専用の超音波メスを用いて内痔核を脱出させている緩んだ直腸側の粘膜とその痔核の栄養血管を環状に切除します。超音波凝固切開装

置（オートソニックシステムR）を用い切除すると、痛みや腫れを少なくすることができます。

手術費用概算

日数	1割負担	2割負担	3割負担
1日	約11000円	約22000円	約33000円
2日	約13000円	約26000円	約39000円

手術の流れ



鼠径ヘルニア手術

施術概要

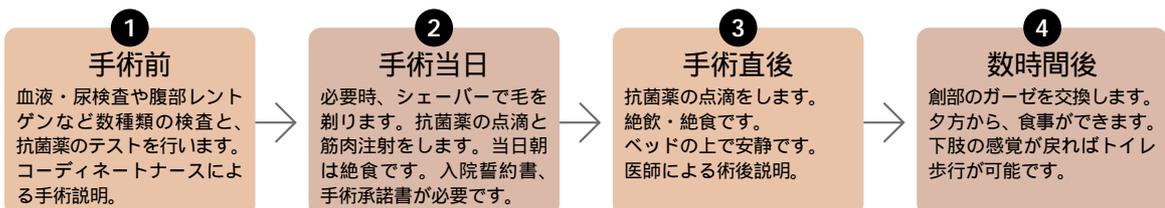
手術は硬膜外麻酔で行います。メッシュシートとプラグといった人工物を使い、臓器が脱出しないようにプラグをヘルニアの穴にふたをするよ

うに入れ、さらにメッシュシートで腹壁の補強をします。

手術費用概算

日数	1割負担	2割負担	3割負担
1日	約15000円	約30000円	約45000円
2日	約17000円	約34000円	約51000円

手術の流れ



腹腔鏡下胆嚢摘出手術

施術概要

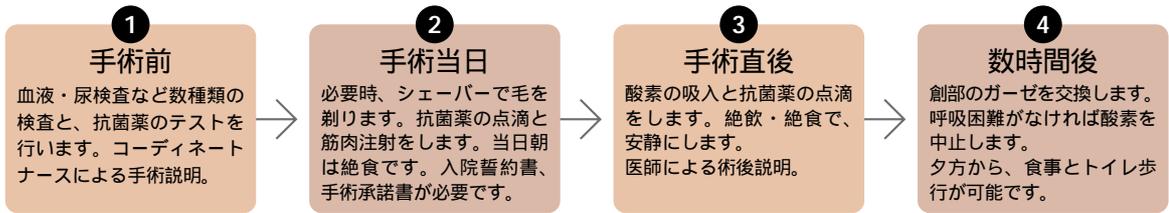
麻酔は、気管内にチューブをいれて人工呼吸をする全身麻酔で行います。腹部に数mm～10mmの穴を4カ所開け、その穴に腹腔鏡と手術鉗子を

を挿入し、カメラに写ったおなかの中を見ながら、手術鉗子を遠隔操作して、胆嚢を取り出します。手術時間は、麻酔をいれて1～2時間前後となります。

手術費用概算

日数	1割負担	2割負担	3割負担
1日	-	-	-
2日	-	-	-

手術の流れ



下肢静脈瘤手術

施術概要

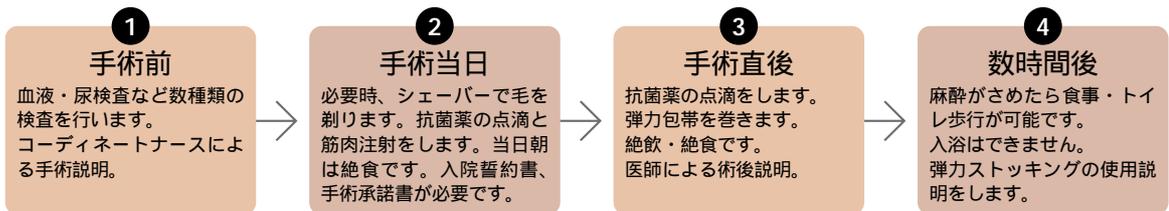
静脈に数回に分けて硬化剤を注入し血管を閉塞させる硬化療法は、入院の必要はありませんが、その後、弾力包帯を3日間巻き、弾力ストッキングを3ヶ月間使用していただきます。但し、再発の可能性もあり、硬化療法のための治療が困難な場合、1泊2日の入院で大伏在静脈の切除や静脈の一部の結紮を併せて行います。

ングを3ヶ月間使用していただきます。但し、再発の可能性もあり、硬化療法のための治療が困難な場合、1泊2日の入院で大伏在静脈の切除や静脈の一部の結紮を併せて行います。

手術費用概算

日数	1割負担	2割負担	3割負担
1日	-	-	-
2日	-	-	-

手術の流れ



白内障手術

施術概要

局所麻酔後、黒目(角膜)と白目(結膜)のさかいを切開します。水晶体の前の膜を円形に切り取り、白濁し視力低下の原因となっている水晶体

の中身を超音波白内障乳化装置で、吸い出します。次に、空になった水晶体嚢に眼内レンズを挿入します。

手術費用概算

日数	1割負担	2割負担	3割負担
1日	約17000円	約34000円	約51000円

手術の流れ



日帰り手術対応疾患

主な対応疾患

外科	痔核	ソケイヘルニア	胆石症	下肢静脈瘤		
眼科	白内障					
整形外科	膝半月板切除術	関節鼠摘出	骨折経皮的鋼線刺入固定(手指・前腕)			
	骨折観血的手術(手指・前腕)		手根管開放手術	腱縫合術		
	脊椎造影(ミエログラフィー)					
形成外科	皮膚・皮下腫瘍	瘢痕拘縮	ケロイド	腋臭症	眼瞼下垂	陥入爪
内科	胃・大腸ポリープ(一部)					

患者さんの症状によっては、日帰り手術に適応しない場合もあり、すべての患者さんに日帰り手術が採用されるわけではありません。



入院

INDEX

一般病棟	33
ICU	34
開放型病床	34



看護部長
山田 幾代
ヤマダ イクヨ

大切なのは病気を治そうという患者さんの意志。 私たちスタッフが専門技術でそれを支えます。

「安心・安全・安楽」な入院生活を前提に、担当看護師による責任ある看護をご提供。

入院治療・看護において、私たちが最も大切にしているのは、「主役は患者」さまという考え方です。「主役は患者」とは、患者さん自身に「病気を治そうという意志」を持っていただくというもの。その意志があつてこそ、私たち医療スタッフの専門技術と、当院のさまざまな機能を持って、ともに治療にあたり病気と闘っていくことができると考えています。そのうえで、患者さんに

とって「安心・安全・安楽」な入院生活を前提に、実生活に近い毎日をお送りいただけるよう努めています。また、患者さんお一人おひとりに担当の看護師を決め、その名前をベッドのプレートに明記。入院中の責任ある看護と、患者さんとの信頼関係づくりにも力を注いでいます。診療所の先生の患者さんにおいて、入院が必要とご判断された際には、当院をぜひご紹介くださいますようお願いいたします。

一般病棟

1~2週間を目安に、
急性期の患者さんに積極的治療と看護を提供。

最高の看護基準体制を整え、
クリティカル・パスによる
計画的治療を実施。

一般病棟は、診療所の先生からご紹介いただいた急性期の患者さんを対象に、1~2週間という限られた期間で治療・看護を行う病棟です。入院の間には、検査や手術など積極的な治療、そして看護を提供するため、患者さん二人に看護師一人という最高基準の看護体制を整えるとともに、医師、看護師、コ・メディカルの有機的な連携によるチーム医療を実践しています。そのうえで、各診療科においてクリティカル・パスを

導入。患者さんにも納得いただける計画的な治療の実現に力を注いでいます。

なお退院後は、紹介いただいた診療所にお戻りいただき、継続的に治療を行っていただきます。



病床数	329 (ICU、開放型病床を含む)
看護基準	群 一般病棟入院基本料1
対象診療科	外科・内科・脳神経外科 整形外科・眼科・形成外科
面会時間	14:00~20:00

ICU（特定集中治療室）

24時間体制の完全型ICU。
患者さんの全身状態を細かく管理。

術後および重篤な患者さんの
心理的・肉体的サインに迅速対応。

クリーンルーム化した完全型のICU（6床）は、術後の患者さんを中心に、一般病棟では管理できない重篤な方々への、24時間体制による治療、看護の提供を目的としています。



ご自分で意志を伝えられない患者さんの身体的・心理的変化のサインを見落とさないよう、24時間患者さんの全身状態管理を行っています。なお、ICUの側にはご家族用の待合室も整えています。ご心配のご家族に対して患者さんの様子をお伝えするなど、ご家族への配慮も怠ることのないよう留意しています。

病床数

6

面会時間

原則的には面会不可

開放型病床

診療所の先生のため患者さんのために病床を用意。
入院中でも共同診療を行っていただけます。

患者さんに連続性ある医療を提供するというひとつの理想形です。

開放型病床は、先生方からの紹介患者さんに優先的に入院していただくための病床です。ここでは、診療所の先生に入院中の患者さんを診察していただくこともでき、患者さんにとっては、かかりつけ医である先生と、当院の担当医との二つの目で治療を受けることができるとともに、退院後の在宅療養に向けても、よりよい状況を生み出すこととなります。こうした連続性のある医療を提供することは、一つの理想的な医療のあり方と考え、329床のうち60床

を開放型病床として用意しています。現在はよりよい開放型病床に向けて、診療所の先生と当院の地域医療連絡室とで検討を重ねており、今後はさらにその数を増やしていきたいと考えています。



病床数

60

面会時間

14:00~20:00

ご利用にあたって

INDEX

地域医療連絡室	37
ご利用の手引き	38
情報提供のお願い	40

地域医療連絡室

効率のよい医療の提供を目指し、
地域の診療所と当院を結ぶ窓口となります。

連続した医療を提供する
橋渡しとして努力しています。

私たち地域医療連絡室は、地域医療ネットワークにおける、診療所の先生と当院とを結ぶ窓口として、日々活動しています。地域医療ネットワークとは、地域の診療所が総合的な初期診断・治療を、病院は専門的な診断・治療を行い、互いに機能を最大限に生かしながら、うまく連動し、地域に効率よく最適な医療を提供していこうとするものです。

診療所の先生から患者さんを当院へご紹介いただいた際には、当院の各

診療科と調整をとり、外来診療や入院、検査などの事前準備をしたり、診療所の先生に紹介患者さんの受診状況報告および退院報告などを行います。また、当院の患者さんでかかりつけ医をお持ちでない方には、当院での治療が終わり次第、その病状にあった診療所の先生をご紹介させていただくなど、より良い病診連携を目指しています。

今後も、地域の診療所の先生方とより良い関係を築き、多くの先生方から信頼され、選ばれる病院となるよう、さらなる努力をまいります。



地域医療連絡室 室長
杉山 等
スギヤマ ヒトシ



地域医療連絡室
仲田 勝則
ナカダ カツノリ



地域医療連絡室
細川 亮
ホソカワ リョウ

外来診療・入院・検査等のご利用手順

8

■.....必要な書類

各診療所

診療情報提供書(紹介状)

FAX又はお電話

● TEL: 06-6702-0343(直通)

地域医療連絡室

地域医療連絡室からご連絡。

FAX又はお電話

● 各診療所へ

各診療所

紹介患者さん
(健康保険証と紹介状をご持参ください。)

● 1階受付へご来院ください。

1階受付

外来の場合

来院報告書

診療情報提供書(受診結果)

入院の場合

診療情報提供書(退院時)

各診療所

外来診療・入院・検査等のご利用手順

8

1 通常の場合

- 1: 患者さんのご紹介及び診察依頼に際しては、まず地域医療連絡室にご連絡ください。
TEL: 06-6702-0343 (直通)
- 2: ご連絡後「診療情報提供書」に必要事項をご記入いただき、地域医療連絡室までファックスしてください。
FAX: 06-6702-0343 (直通)
(お電話でのご連絡でもかまいません。)
- 3: ご連絡いただいた「診療情報提供書」にもとずき、受診科に対して紹介患者さんの受入の準備を行います。その後、速やかに電話にて受入をご連絡いたします。

時間外での対応について

地域医療連絡室での受付は、午前9時から午後5時(日曜・祝日を除く)までです。その他の時間帯や、休日・祝日で緊急を要する患者さんの場合は、従来通り救急外来で対応いたします。

2 緊急に入院が必要な場合

- 1: 外来受診と同様に、ファックス又はお電話で地域医療連絡室にご連絡ください。
(TEL: 06-6702-0343直通)
ご連絡後、各診療科と調整し、患者さんの受入準備を外来または救急外来で行います。
- 2: 「診療情報提供書」に必要事項をご記入いただき、地域医療連絡室までFAXをしてください。
FAX: 06-6702-0343 (お電話でのご連絡でもかまいません。)
なお診療情報提供書の原本は、患者さん本人にお渡しください。

お願い

ご紹介いただいた患者さんの疾患が、当院で対応できない場合には、ご相談の上、他の医療機関をご紹介させていただくか、お断り申し上げる場合もあると思われまますので、あらかじめご了解のほどよろしくお願い申し上げます。

情報提供依頼シート

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当院では「地域医療連絡室」を設け、良質な医療の効率的提供をめざし診療所の先生方とのネットワークづくりに力を注いでいます。今後も先生方とのより良い関係づくりに努めてまいります。そのためにも、まずは当院が貴院のご活動内容を正確に理解し、貴院へ当院の患者さんをご紹介する際などに、その情報を活かしてまいりたいと存じます。

つきましては、貴院のご活動内容を教えていただきたく、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、下記にご質問をまとめさせていただきますので、ご回答の上、当院「地域医療連絡室」までファックスにてお送りくださいますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、貴院の益々の発展と先生のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

敬具

東住吉森本病院 院長 宮城邦栄

これらの情報は、当院の患者さんを貴院へご紹介させていただく際に利用いたします。(一般公開はいたしません。)

診療所名(正式な名称をご記入ください。)

住所

TEL番号

FAX番号

Eメールアドレス

URL

診療科目

可能な検査項目

特徴(専門分野や、力を入れ取り組んでいらっしゃるなどを50字程度でご記入ください。)

診察日に をご記入ください。

	月	火	水	木	金	土
午前						
午後						

受付時間 午前 午後

診察時間 午前 午後

休診日

その他特記事項

ふりがな
院長名

メッセージ（診療方針をはじめ、患者さんへのメッセージを100文字程度でご記入ください。）

経歴

所属学会

専門医・認定医

往診と在宅訪問診療についてお教えてください。

往診	実施している	対象地域をご記入ください（	）
	実施していない		
在宅訪問診療	実施している	対象地域をご記入ください（	）
	実施していない		

在宅訪問診療について、実施している項目にチェックしてください。

膀胱カテーテル管理	リハビリテーション	小外科的処置
褥創処置	胃ろう形成管理	寝たきり痴呆患者管理
IVH	気管カニューラ装着者管理	癌末期医療
在宅人工呼吸療法	在宅酸素療法	その他
肛門・回腸導管管理	経管栄養管理	

お手数ですが、この情報提供依頼シートをコピーしてご記入の上、地域医療連絡室までファックスにてお送りください。

お忙しい中、ご解答を賜り心よりお礼申し上げます。
今回いただきました、貴重な情報を活かし、より一層連携が深まりますよう鋭意努力を重ねて参る所存でございます。
何卒、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
また、地域医療連絡室に関する、不明な点やご意見がございましたら下記の窓口までお気軽にご連絡ください。
地域医療連絡室 室長 杉山等

お問い合わせ先

地域医療連絡室

TEL&FAX
06-6702-0343
(直通)

医療法人 橘会

東住吉森本病院

〒546-0012
大阪市東住吉区中野3丁目8番12号
TEL 06-6702-0010（代表）
URL <http://www.age.ne.jp/x/thm-hp/>

医療法人 橘会

東住吉森本病院

Higashi Sumiyoshi Morimoto Hospital

04.02.06.10